



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.29
六甲山の清掃運動と
水質調査/岡 敏明
2005年8月発行



第29回テーマ： 六甲山の清掃運動と 水質調査

講演内容

六甲山から
ゴミを一掃する運動

六甲山における
水質調査と植樹



講師：岡 敏明さん

プロフィール

1947年兵庫県加西市生まれ。神戸大学経済学部卒、日本ペイント(株)勤務。1997年兵庫県勤労者山岳連盟傘下摩耶山友会入会、兵庫県勤労者山岳連盟理事(自然保護担当)

実施日：平成17年8月20日(土)

午後1時～3時30分

場所：六甲山自然保護センター
レクチャールーム

記念碑台周辺の清掃整備を見直した

六甲山はとても涼しく夏の終わりを感じました。自然保護センターの展望テラスから見晴らしが良く神戸空港も見えていました。

午前の清掃整備ボランティア活動では、神戸市森林整備事務所の高橋所長から活動についての指導や助言を受けました。記念碑台周辺の散策コースを高橋所長と10名のメンバーと一緒に歩きながら、整備清掃の進め方を話し合いました。

兵庫労山のゴミを一掃する運動を知った

岡敏明さんは、兵庫県勤労者山岳連盟(略称：兵庫労山)に加盟している摩耶山友会の会員で、兵庫労山では理事(自然保護担当)をされています。今回は清掃登山運動「六甲山からゴミを一掃する運動」と六甲山系の水質調査を中心に、スライドや調査マップを用いてお話しいただきました。清掃登山運動は27年間も続いており、環境大臣賞を受けるなど社会的に高く評価されています。セミナーには岡さんと同じく兵庫労山の仲間も参加され、積極的な発言で場を盛り上げていただきました。



27年間にも及ぶ運動に感動

飲み水の決め手は大腸菌の有無

兵庫労山では六甲山系の水質調査を自主的に定期調査されています。最近の実施結果や調査時の工夫や苦労話などを伺いました。コップが置いてあっても飲めない水場があることに驚きました。六甲山系の水は飲めるか飲めないかという話題で、大腸菌の有無が判断の基準になるとのことでした。

全市民にクリーン運動を呼びかけたい

六甲山で活動している団体や一般市民と一緒に、大々的な六甲山の清掃運動「10万人クリーン作戦」をしたらどうかという声がありました。今回をきっかけに何か試みを考えていきたいと思えます。

詳しくは、1・2ページをお読みください。

参加の感想 根岸 真理さん

山歩きが好きな私にとって、六甲山は地元の山として一番身近な存在。以前からゴミを拾いながら歩いているグループをよくお見かけしましたが、今回兵庫労山さんの長年にわたる取り組みについてお話を伺うことができて改めて感服しました。地道なご活動がハイカーのモラル向上などにも影響を与え、「よい循環」を作り出しているように思います。今後も更に多くの人を巻き込んで「六甲山のよき習慣」となればいいですね。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会
協力：兵庫県立人と自然の博物館
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】
(財)大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)(財)ひょうご環境創造協会、コープこうべ環境基金、灘区役所「地域力を高める」事業助成